

学校だより  
第53号



文責  
校長 都々木

# 「SNS」や「LINE」や「Facebook」や「Twitter」

「YouTube」「LINE」「Facebook」「Twitter」「Instagram」。ほとんどの生徒が耳にしたことがある、利用したことのある生徒も多いのではないのでしょうか？かく言う私も「LINE」は大いに活用し便利さを体感しています。

その一方で、SNSを介した生徒間のトラブルも後を絶ちません。このトラブルの第一義的責任は保護者にあるのだろうと考えますが、学校も問題の解決への協力を惜しむことはありません。

5月末、女性プロレスラーの自殺が大きなニュースとなりましたが、報道によると、SNSでの誹謗、中傷が原因のようです。2008年付けの長崎新聞「水や空」に、「匿名に守られて卑劣な振る舞いをしていないか、点検する方法がある」とありました。その方法とは？

- ① 自宅の玄関に張り紙できるか？
- ② 教室や職場で言えるか？
- ③ 家族に話せるか？



と、送信の前に自問してみるのだそうです。ネット上のいじめは見えにくく発見しにくいので、深刻化することが多いようです。交通事故0のために車を無くすことができないのと同じように、ネットトラブルを0にするためにSNSを無くすことも出来ないでしょう。「卑劣な振る舞いを嫌う日本人に育ってくださることを願っています。」

## 校内掲示物三題

### 生徒会の取組



生徒玄関にズラッと並び、中総体に向けた決意の言葉&応援メッセージ。県中総体の中止、応援無しの無観客試合。それぞれの生徒の思いは複雑でしょう。三年生にとっては最後（駅伝除く）の大会。悔いの残らない、次（高校での部活動）につながる大会となることを願っています。

「ひまわりプロジェクト」。東日本大震災の被災地を元気づけようと始まったプロジェクト。福江中学生会も参加しています。



う変化するのを楽しみにしています。次号にてお知らせします。

上の写真は、実は謎です。校内の複数箇所に似たような物が掲示されています。木の幹のようなく、この後、どう変化するか楽しみです。

(雑感)今回は「パー」の話▼ヒトの指は、ものすごい感覚を持っている。触れただけでそれが何なのか想像できるが、指の触覚は13センチを見分けるそうだ。1センチは10億回だから、ざっと1mmの10万分の1の凸凹を区別できる。インフルエンザウイルスの大きさが、およそ100ナノメートルであるから、「指」は、眼で見えない物さえ、区別できるということになる！指くん恐るべし！▼か弱いヒョコを手取る時にはそおっと。ボールを投げるときにはしっかりと。壊れやすい卵でも、固い鉄の玉でも上手につかむことができる。機械にこれをさせようとするととても大変で、コンピューターで制御しても、人間ほど上手にはできない▼私たちの手は、壊れやすい弱い物には、とても優しく触れないといけないことを知っているが、機械は人間が教えないとできない▼私たちの心も、本当は手と同じように、弱い立場の人には優しく、困っている人には手助けをしないといけないことを知っている。でも、なかなか行動に出せない▼手に見習って、人に優しく、進んで手助けをすることのできる人間になりたい▼もう一つ。手はその人の生きてきた人生を表すとも言う。しわだらけだったり、皮が厚くなったり、皮が太かったり、けがの痕があるかも知れない。親の手は我が子を育てるために、何十年も働いてきた「手」なのだ。その手を優しく、優しくさすってあげられる子どもであって欲しい。

大切な人だからこそ  
叱るのです。

子どもに伝えたい「いい言葉」